

2025年5月8日

2025年 お米についての緊急アンケート調査
お米を買うときに重視することは「国産米である（77.8%）」が最も多く
次いで「銘柄（40.5%）」、「量（2kg、5kgなど）」という結果に
～価格の上昇が続く中、お米を食べる頻度については「変わらない（80.0%）」結果に～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：土屋 敏夫）は、昨年に続いて「お米についてのアンケート調査」の結果を取りまとめましたのでご報告いたします。令和6年産米は引き続き、不明瞭な販売・流通等に起因するとされる需給混乱の様相を呈しており、仕入価格・販売価格の高騰が続いています。2025年1月には政府備蓄米の市場放出が決定され、3月には実際に市場流通が開始しました。その一方、価格の高騰は止まらず、商社等においては外国産米の輸入が活発化するなど、米の需給を巡っては、この春にも大きな変化が起きています。日本生協連では、直近の需給混乱を念頭に置いて、主食であるお米の利用実態を把握し、生産者と産地の取り組みに役立てることを目的に、2021年より調査を開始しています。今回は価格上昇などの背景から、全国の組合員を対象に、緊急でWEBアンケートを実施しました。（調査期間：2025年3月11日～3月18日、有効回答数：6,342件）

～調査結果の主なトピック～

■ 1日に1回以上お米を食べている人は全体の95.2%。引き続き高い水準を維持するも、やや減少傾向。

各家庭でお米を食べる頻度を尋ねたところ、「1日に2回程度（52.7%）」と回答した割合が最多でした。続いて「1日に1回程度（25.2%）」、「1日に3回以上（17.4%）」という結果となり、全体の95.2%が1日に1回以上お米を食べていることが判明しました。前回2024年10月と比較すると、「1日に2回程度」は1.2%増加、「1日に3回以上」は1.2%減少しており、1日にお米を食べる頻度は前回調査時よりもやや減少しました。

■ お米を食べる頻度は「変わらない（80.0%）」が最多。主な理由は「米が好きだから」「主食だから」。

直近の6ヶ月において、米の価格上昇にともない、お米を食べる頻度が変化したかを尋ねたところ、「変わらない（80.0%）」、「減少した（16.9%）」、「増加した（2.3%）」という結果となりました。「変わらない」と回答した理由については「米が好きだから」「主食だから」「値上しているが他の食品も同様だと思うから」等が挙げられました。「減少した」と回答した理由については、「高価だから」が最多でした。

■ お米の代わりによく食べるようになったものは「ない・変わらない（82.8%）」が最多。「ある（17.2%）」で最も多い回答は「パン」という結果に。

お米の代わりによく食べるようになったものがあるかを尋ねたところ、「特にない・今までと変わらない（82.8%）」、「お米の代わりによく食べるようになったものがある（17.2%）」という結果になりました。「お米の代わりによく食べるようになったものがある（17.2%）」との回答のうち、具体的な品目について自由回答（複数回答可）で尋ねたところ、「パン（426件）」、「麺（「めん」を含む、311件）」、「うどん（340件）」などが挙がりました。

■ お米を買うときに重視することは「国産米である（77.8%）」が最多。次点は「銘柄」40.5%。

お米を買うときに重視することについて尋ねたところ、「国産米である（77.8%）」、「銘柄（40.5%）」、「量（34.3%）」、「産地（33.6%）」が上位を占める結果でしたが、一方で前回2024年10月調査と比較すると、「銘柄」は8.0%、「産地」は9.5%減少となりました。特に「味の好み（26.5%）」は12.3%の大幅減少となっており、前回調査では第3位でしたが、今回調査では第6位までランクダウンしました。一方で「価格が安い（33.1%）」は1.8%増加しており第5位にランクインしました。お米の価格上昇が続いた場合に重視しなくなることに最も多かった回答は「わからない・特にない（33.9%）」でしたが、その後「銘柄（30.4%）」、「産地（19.0%）」が続き、直近の価格高騰の影響により、価格以外で、お米について重視する事・こだわる事が減少する結果となりました。

<お問い合わせ先>

日本生協連広報部

TEL：03-5778-8106

■ 1日に1回以上お米を食べている人は全体の95.2%。引き続き高い水準を維持するも、やや減少傾向。

各家庭でお米を食べる頻度を尋ねたところ、「1日に2回程度（52.7%）」と回答した割合が最多でした。続いて「1日に1回程度（25.2%）」、「1日に3回以上（17.4%）」という結果となり、全体の95.2%が1日に1回以上お米を食べていることが判明しました。前回2024年10月と比較すると、「1日に2回程度」は1.2%増加、「1日に3回以上」は1.2%減少しており、1日にお米を食べる頻度は前回調査時よりもやや減少しました。

Q. あなたのご家庭で、お米を食べる頻度を教えてください。（答えはひとつ）

2025年3月

		全体	1日に3回以上	1日に2回程度	1日に1回程度	2～3日に1回程度	ほとんど食べない	その他【】
全体		(6337)	1101 17.4	3338 52.7	1594 25.2	226 3.6	70 1.1	8 0.1
年代（10歳刻み）	20代	(89)	12 13.5	55 61.8	20 22.5	0 0.0	2 2.2	0 0.0
	30代	(627)	132 21.1	364 58.1	111 17.7	20 3.2	0 0.0	0 0.0
	40代	(1245)	291 23.4	678 54.5	242 19.4	23 1.8	9 0.7	2 0.2
	50代	(1584)	303 19.1	852 53.8	365 23.0	46 2.9	17 1.1	1 0.1
	60代	(1607)	233 14.5	796 49.5	476 29.6	77 4.8	21 1.3	4 0.2
	70代～	(1185)	130 11.0	593 50.0	380 32.1	60 5.1	21 1.8	1 0.1

2024年10月

		全体	1日に3回以上	1日に2回程度	1日に1回程度	2～3日に1回程度	ほとんど食べない	その他【】
全体		(6438)	1195 18.6	3315 51.5	1621 25.2	227 3.5	74 1.1	6 0.1
年代（10歳刻み）	20代	(141)	28 19.9	78 55.3	30 21.3	3 2.1	2 1.4	0 0.0
	30代	(757)	162 21.4	446 58.9	135 17.8	9 1.2	5 0.7	0 0.0
	40代	(1382)	348 25.2	754 54.6	245 17.7	23 1.7	11 0.8	1 0.1
	50代	(1594)	333 20.9	785 49.2	398 25.0	61 3.8	17 1.1	0 0.0
	60代	(1590)	214 13.5	773 48.6	491 30.9	84 5.3	24 1.5	4 0.3
	70代～	(974)	110 11.3	479 49.2	322 33.1	47 4.8	15 1.5	1 0.1

■ お米を食べる頻度は「変わらない（80.0%）」が最多。主な理由は「米が好きだから」「主食だから」。

直近の6ヶ月において、米の価格上昇にともない、お米を食べる頻度が変化したかを尋ねたところ、「変わらない（80.0%）」、「減少した（16.9%）」、「増加した（2.3%）」という結果となりました。「変わらない」と回答した理由については「米が好きだから」「主食だから」「値上しているが他の食品も同様だと思うから」等が挙げられました。「減少した」と回答した理由については、「高価だから」が最多でした。

Q. 直近の6ヶ月間において、あなたのご家庭で価格上昇により、お米を食べる頻度は変わりましたか。
（答えはひとつ）

		全体	増加した	減少した	変わらない	わからない
全体		(6337)	144 2.3	1068 16.9	5067 80.0	58 0.9
年代（10歳刻み）	20代	(89)	4 4.5	19 21.3	66 74.2	0 0.0
	30代	(627)	24 3.8	112 17.9	486 77.5	5 0.8
	40代	(1245)	50 4.0	218 17.5	966 77.6	11 0.9
	50代	(1584)	27 1.7	321 20.3	1219 77.0	17 1.1
	60代	(1607)	25 1.6	252 15.7	1320 82.1	10 0.6
	70代～	(1185)	14 1.2	146 12.3	1010 85.2	15 1.3

■ お米の代わりによく食べるようになったものは「ない・変わらない（82.8%）」が最多。「ある（17.2%）」で最も多い回答は「パン」という結果に。

お米の代わりによく食べるようになったものがあるかを尋ねたところ、「特にない・今までと変わらない（82.8%）」、「お米の代わりによく食べるようになったものがある（17.2%）」という結果になりました。「お米の代わりによく食べるようになったものがある（17.2%）」との回答のうち、具体的な品目について自由回答（複数回答可）で尋ねたところ、「パン（426件）」、「麺（「めん」を含む、311件）」、「うどん（340件）」などが挙がりました。

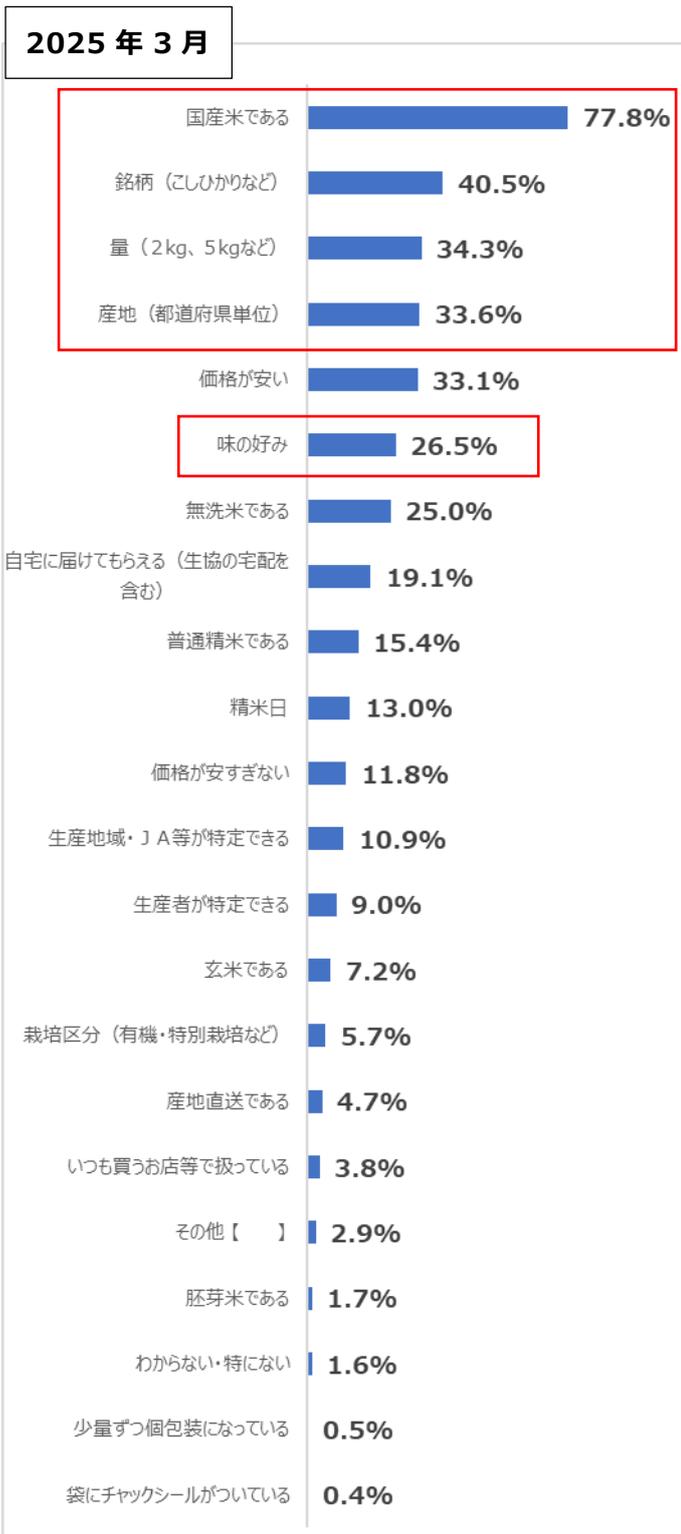
Q. あなたのご家庭で、お米の代わりによく食べるようになったものがあれば、教えてください。（答えはひとつ）

		全体	お米の代わりによく食べるようになったものがある	特にない・今までと変わらない
全体		(6337)	1089 17.2	5248 82.8
年代（10歳刻み）	20代	(89)	19 21.3	70 78.7
	30代	(627)	119 19.0	508 81.0
	40代	(1245)	233 18.7	1012 81.3
	50代	(1584)	314 19.8	1270 80.2
	60代	(1607)	253 15.7	1354 84.3
	70代～	(1185)	151 12.7	1034 87.3

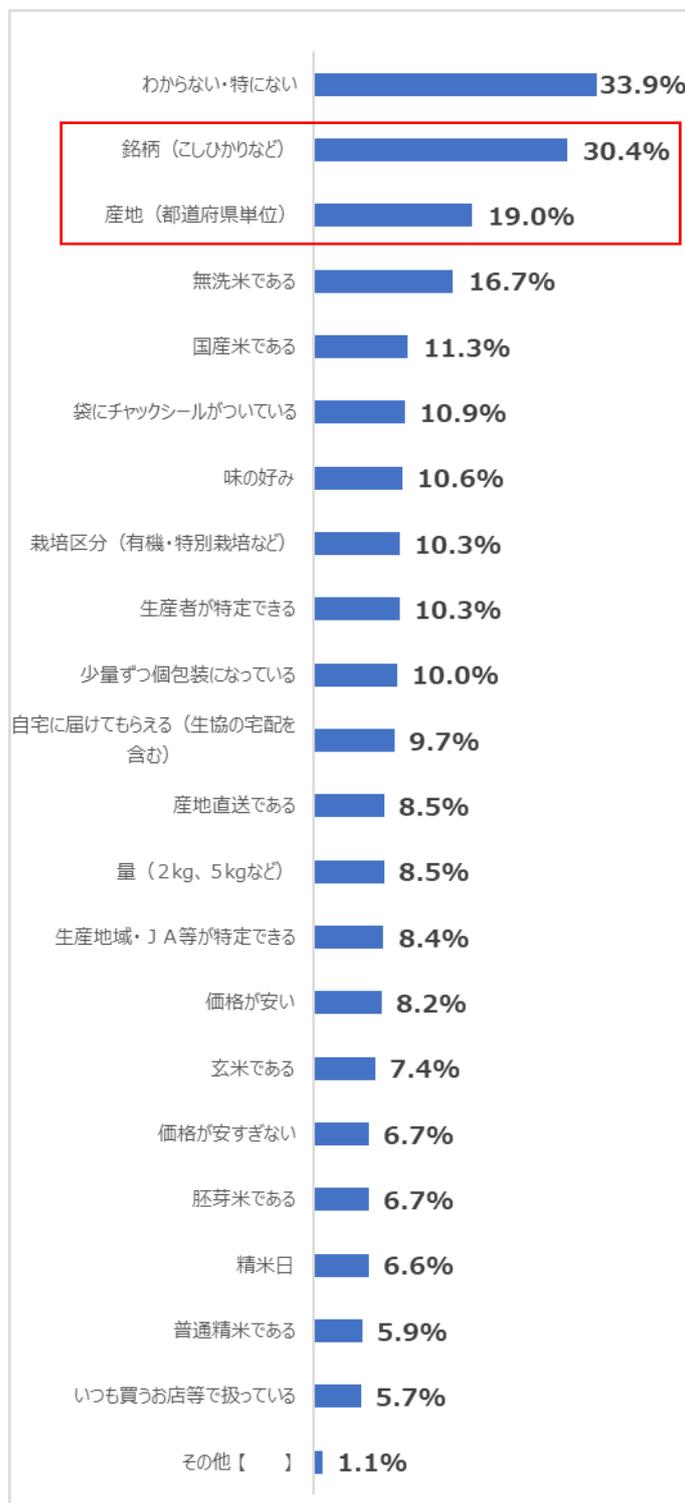
■ お米を買うときに重視することは「国産米である（77.8%）」が最多。次点は「銘柄」40.5%。

お米を買うときに重視することについて尋ねたところ、「国産米である（77.8%）」、「銘柄（40.5%）」、「量（34.3%）」、「産地（33.6%）」が上位を占める結果でしたが、一方で前回2024年10月調査と比較すると、「銘柄」は8.0%、「産地」は9.5%減少となりました。特に「味の好み（26.5%）」は12.3%の大幅減少となっており、前回調査では第3位でしたが、今回調査では第6位までランクダウンしました。一方で「価格が安い（33.1%）」は1.8%増加しており第5位にランクインしました。お米の価格上昇が続いた場合に重視しなくなることに最も多かった回答は「わからない・特にない（33.9%）」でしたが、その後「銘柄（30.4%）」、「産地（19.0%）」が続き、直近の価格高騰の影響により、価格以外で、お米について重視する事・こだわる事が減少する結果となりました。

Q. あなたがお米を買うときに重視することを教えてください。（答えはいくつでも）



Q. 今後もお米の価格の上昇が続いた場合に、あなたがお米を買うときに重視しなくなることを教えてください。
(答えはいくつでも)



■ 調査概要

「お米についてのアンケート」調査

調査方法：インターネット

調査対象：組合員モニター

実施期間：2025年3月11日～3月18日

有効回答数：6,342件